

今後もごみの分別、ルール順守にご協力を

ダイオキシンの排出量1/3に

「塩ビ系ごみ分別の効果現れる」

広域第一環境センター（ごみ焼却場）の排出ガスから国の暫定基準を超えるダイオキシンが検出されました。そのため、皆さんのご協力を得て塩化ビニール系ごみの分別収集を実施してきたところ、八月に採取した排出ガスの調査結果では、先回の約三分の一にまで低下しました。これは皆さんが分別にご協力をいただいた結果であると感じております。

今後引き続き分別収集にご協力いただくとともに、ごみ出しルールの順守及び今後のごみ減量化政策にもご理解とご協力をお願いします。

基準値の半分、38ナノグラム

一月末に実施した広域第一環境センターの排出ガスの検査で、厚生省の暫定基準（八十ナノグラム・一ナノグラム＝十億分の一グラム）を超える百十ナノグラムのダイオキシンが検出されました。それを受け、皆さんの協力を得て発生源の一つといわれている塩ビ系ごみ六品目の分別収集を七月から実施してきました。その後、八月に市が独自に採取した測定結果がこのほど出され、先回の測定値を大きく下回り、厚生省の基準の

半分以下の三十八ナノグラムとなりました。先回測定値の約三分の一にまで減少したことは、環境に対する皆さんの関心が塩ビ系ごみの分別収集に現れ、積極的にご協力をいただいた結果であると感じております。

燃やすごみをゼロに

厚生省が打ち出したガイドラインでは、平成十四年にはこの基準値を五ナノグラムまで下げる予定です。この基準に適した施設を建設するには、膨大な費用がかかることから、この対応策として、ご

みの減量化、資源化を図り、ごみを燃やさない方向で、現在一市二町の広域圏で検討、作業を進めています。

今後は、皆さんに使い捨て生活の見直しによる減量化をお願いするとともに、リサイクル、固形燃料化、堆肥化施設の建設により、ごみの再利用を図り、燃やすごみをゼロに近付けるものです。

減量化

減量化を図るには、ごみの再利用を促進するとともに、当然ごみを出す側、つまり、皆さんのご協力が欠かせません。

一つは、使い捨てに慣れた現代社会のライフスタイルを変えなければなりません。これは、行政側でいくら啓発しても限度があります。市民一人ひとりが現在のごみ問題を真剣に考え、実行してもらわなければならないのです。

もう一つは、家庭から出る生ごみです。これについては、コンポストを利用して堆肥化を図り、家



庭菜園などに利用してもらおうというのが良い方法だと考えています。

リサイクルプラザ

燃やせないごみ、粗大ごみの中から、資源として再利用できる有価物（アルミ・鉄など）を取り出し、現在資源回収しているアルミ缶、スチール缶、びん、紙類と合わせて製造業者に引き取ってもらおうための選別施設です。この施設の完成は平成十二年度を目指しています。

この施設には、研修室、修理工房（家具、家電品、自転車などの修理再生）、展示室、リサイクル図書室などの啓発施設も併設する予定です。

固形燃料化施設

燃やせるごみをチョーク状に固めて、固形燃料に変える施設で、